

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

10月から図書館再開！ 読書の秋は図書館まつり

週替わり
手作りの葉や缶バッジ
プレゼント！

【図書館貸出促進キャンペーン】

応募者の中から抽選で100人の方にかすみぐうにヤグッズをプレゼント！

期間：10月1日（日）～11月8日（日）

場所：図書館本館（霞ヶ浦コミュニティセンター）

対象：図書館利用カードをお持ちの方

貸出点数：21作品以上（本、視聴覚資料、雑誌）

※本館・分館・中央出張所の貸出レシートは合算できます。

※応募者本人の図書館利用カードで借りた作品が対象です。

※貸出期間の延長分はカウントされません。

応募方法：応募用紙に貸出レシートを貼付し、11月8日（日）までに図書館へ提出。

※11月18日（日）館内掲示・図書館ホームページで当選発表をします。当選者の方は引換券を持参のうえ、申込先の図書館カウンターへお越しください。

【リサイクルブック無料配布】 2カ所同時開催！

日時：10月18日（日）午前9時～午後4時

場所：ふれあい生涯学習フェア会場（千代田コミュニティセンター）

同日、図書館本館内でも一部リサイクルブックを配布します。

※一人20冊まで ※持ち帰り用の袋や台車は各自お持ちください。

参加者募集

市読書会連合会文庫のつどい講演会

「絵本を楽しむための最初の一步とその先のこと」

日時：10月3日（土）午前10時～正午

場所：ウエルネスプラザ1階 健診室・研修室101

講師：絵本専門士 石川仁美先生

定員：25人（申込順）

申込方法：かすみぐう市立図書館までお電話ください



ホームページでは、利用案内や図書検索
など図書館の情報を掲載しています▶



図書館本館 ☎ 029-897-0647

10月 図書館カレンダー

2026年 October						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■休館日：

月曜日（祝日の場合はその翌日）、
月末図書整理日

◎お話し（本館）：

10月10日（土）午前10時30分
ハロウィンお話し

★秋の読書週間作品展示（本館）

10月16日（金）～11月26日（日）

初蟬や瓜苗植えて光る汗	十葉を煎じる鍋の色深き	利き足に気配感じる庭見草	百日紅夏から秋に咲き満ちぬ	処暑の午后バス通学の小学生草引く吾に声かけ走る	朝顔が道路の隅で咲いているそのしたたかき我も見習う	ハケ岳の岩場をゆけば西の手に命よぎるも嶺に立ちたり	これからも元気でいてねと誕生日祝った母は齢96なり	部屋いっぱい香り漂う仏間かな友より届くカサブランカに	投 稿 作 品	幾年を放置されいし畑なるや月見草の黄群れて立ちおり	自画像を描かむと鏡持ち出せば一人侘しき老女見つむる	三十年ぶり幼馴染の便り来て会ったところで過し日のこと	老ゆるのも力が要ると思ふなり立ち上がる時膝に手を置く	出島短歌会	里山に蟬の声のみ響きををり	夏草の繁り放題散歩道	手花火の尽きてバケツの闇来たる	向日葵に今日の元気を貰いたる	紫陽花俳句会	秋立てり田の面黄金にうつろへる	曳いた子に今は曳かれて初螢	思ひ出の多き八月卒寿越ゆ	凜と咲く蓮一輪や背筋伸ぶ	秋来たるうりざね顔の夜の空	大木を突然ゆるがす蟬しぐれ	千代田俳句同好会
兼西清治	竹村啓子	中村耕二	高野新一	沽野はつ子	矢口哲雄	中島良平	石塚賀子	飯島すみ子		仲谷香代子	薬師寺玲子	名倉観子	岡田恭子		島田和子	久保庭悦子	藤本菅生	原田加代子		飯沼礼子	福田妙子	萩原初枝	中島暉子	鈴木けい子	桜井筑蛙	

文芸ひろば 投稿作品

WEBで投稿
できます



投稿作品（俳句・短歌・川柳）を募集します。10月5日（日）までに情報広報課（〒300-0192 大和田562）へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。



造り酒屋と通い徳利
～地域の日本酒文化～
市民学芸員 二瓶 光彌

歴史博物館 ☎ 029-896-0017

明治、大正と続いた造り酒屋が一の瀬橋近くの坂・有河地区にありました。これは、良質な湧水を利用できたことから、酒造りに適した立地だったと言われています。今では小売り店舗は姿を消してしまいましたが、酒蔵建築は今でも残っており、当時の面影を今に伝えています（写真1）。こちらの建物には、当時は高い煙突があったらしいのですが、戦時中に米軍機から攻撃の目印になるということで、取り壊されてしまいました。



写真1

さて、当家には口が小さく胴が膨らんだ陶製の容器が残されています（写真2）。この容器は「通い徳利」といい、別名「貸し徳利」「貧乏徳利」とも呼ばれました。これは、お酒の量り売り用の容器として貸し出されたもので、酒蔵の屋号や戸主名の一部が筆書きされています。この徳利以外にも、数種の通い徳利が市歴史博物



写真2

館に収蔵・展示されており、近隣にも散見されることから、当地周辺において量り売りの日本酒文化が定着していたことが推察されます。酒の銘柄については、当家所有の正角膳（写真3）に「菊水」の銘が見えることから、同銘柄が流通していたことが窺えます。

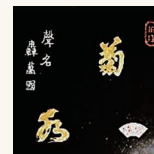


写真3

このほか、「茨城県酒造組合」の看板も当家に残っていました（写真4）。こちらは当地で造り酒屋が営まれていた貴重な語り部であることから、市歴史博物館に寄贈・収蔵されています。当地周辺には、冬季に新潟から「酒造り出稼ぎ人（越後杜氏の集団）」が来て酒造りを担っていたという話が伝わっています。当時の有河は、河岸として他地域の人々の往来に重要な機能を果たしていました。一ノ瀬橋近くには、問屋や旅館もあったようで、往時の賑わいが脳裏に浮かんできます。



写真4

『出島村史』や『霞ヶ浦風土記』などの郷土史に関する図書の中には、意外なほど造り酒屋も含めた日本酒にまつわる記述は見られません。多くの人々が関わり、味わった日本酒にまつわる歴史・文化を調査し、後世に残す作業も重要ではないかと考えています。

写真1：酒蔵があったところ（水彩画） 写真2：通い徳利
写真3：正角膳の「菊水」「聲名轟万國」などの文字

人生の先輩

健康の秘訣をお聞きました

会話で繋がる

コミュニケーションの輪



折本 孝男さん（67歳）

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



▲詳細

情報広報課（霞ヶ浦庁舎）
☎ 029-897-1111